

日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会 (第 25 期・第 1 回)

議事要旨

- 開催日時：2021 年 3 月 26 日 (金) 10:00-11:00
- 開催形式：zoom によるオンライン会議
- 出席者： 植木巖、小畑元、齊藤宏明、武田重信、東塚知己、西岡純、本多牧生、  
升本順夫、村田昌彦、山形俊男 (計 10 名)
  
- 議題等
  1. はじめに

学術会議連携会員である山形委員より、第 25 期日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会の発足について説明があった。
  2. 議題
    2. 1. 役員選出

委員の互選により、委員長に升本委員、幹事に植木委員を選出した。なお、本小委員会では副委員長は置かないこととなった。
    2. 2. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

議事要旨の承認方法に関して、小委員会内での議事要旨案確認後の微修正および最終的な承認については委員長に一任する旨が了承された。
    2. 3. 小委員会委員間のメールアドレスの共有について

メール審議の実施等も踏まえ、予め委員間でのメールアドレスを共有することが了承された。
    2. 4. 国際的な IIOE-2 の状況

升本委員長より現在の IIOE-2 の状況に関して、運営や組織構造と 4 月に開催される第 4 回 IIOE-2 運営会議を中心とした紹介が行われた。当初 2020 年までであった IIOE-2 が 5 年間延長され 2025 年までの実施となったこと、国連の「持続可能な開発のための海洋科学の 10 年」への IIOE-2 への貢献についての議論が運営委員会で進められること等の情報を委員間で共有した。COVID-19 の影響により延期されている IIOE-2 科学シンポジウムの開催予定については、2022 年 3 月への再延長で検討が進められている旨の報告もあった。

また、齊藤委員より政府間海洋学委員会の地域委員会である IOCINDIO の小委員会へ

の格上げに関する情報提供があり、今後の IIOE-2 の活動への影響も考えられるため、注視していくこととなった。

## 2. 5. 今後の活動方針と予定

小委員会の活動としては、必要に応じた情報交換と年に 1-2 回の会議の開催を行うこととなった。また、各種学会合にてインド洋研究に関わるセッションを積極的に開催することとした。

国連の「持続可能な開発のための海洋科学の 10 年」への IIOE-2 としての貢献について、国内での関連研究プロジェクトの情報を取りまとめ、日本の貢献に関して今後整理していく必要があること、その際、IIOE-2 の目的を考慮して自然科学の側面からの貢献に重点を置くことを確認した。

## 2. 6. その他の情報共有

本多委員より IIOE-2 と深く関係する「インド洋の生物地球化学と生態系に関する研究 (SIBER)」プロジェクトの活動報告があり、インド洋での生物地球化学研究の進捗状況を確認した。

小畑委員および植木委員より、白鳳丸や JAMSTEC 船舶の航海計画の状況に関する情報共有があった。今後の航海計画については COVID-19 の影響が見通せない部分はあるものの、観測機会拡充の必要性を共通認識とした。

齊藤委員より日本学術振興会の研究拠点形成事業の 1 つとして進められている「持続的な東南アジア海洋生態系利用のための研究教育プロジェクト」の紹介があった。

### ● 事前配布資料

- (1) IIOE-2 structure 資料
- (2) Draft agenda IIOE-2 SC4 資料

以上